

20. 困窮家庭の子どもや児童養護施設の子どもへの教育支援

グループ名 S w i n g - B y

代表者 日永 純治

① 活動の目的

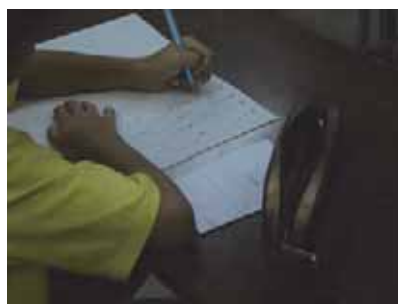
宮崎県にある児童養護施設の大学進学率を上げるとともに、施設間の格差を解消するため、児童養護施設の子どもたちへの教育支援を児童養護施設と協働して行うとともに、学校等が主催し私たちも参画するケース会議で支援対象になった児童・生徒への教育支援を継続して行うことを通して、「貧困の連鎖」を断ち切ろうとしている子どもたちに伴走し、進学・就労につなげる。

② 活動概要

- 1) 宮崎市立の中学校 3 年生男子については、中学校と連携し、学校にて学習支援を行うとともに、金曜日に宮崎市男女共同参画センターパレットにて学習支援を行った。会場の提供については、宮崎市男女共同参画センターパレットの協力を得た。現在も、対象生徒は高等学校に進学したが、継続して日曜日に、学習支援を行っている。
- 2) 宮崎市内の中学校 3 年女子については、宮崎市社会福祉課と連携して、家庭訪問型の学習支援を行った。現在も、高等学校に進学したが、継続的に日曜日に、学習支援を行っている。
- 3) 宮崎市内の中学校 2 年生男子については、日曜日に宮崎大学教育学部附属教育協働開発センターにて、学習支援を行っている。現在も、継続して学習支援を行っている。
- 4) 児童養護施設みんせいかと連携して、主に月曜日と金曜日を中心に学習支援を行った。2019 年 8 月まで児童養護施設みんせいかんにて学習支援を行ったが、当該生徒の事情のため学習支援は終了した。

5) 児童養護施設みどり学園と連携して、不定期に学習支援を行った。2019年3月まで学習支援を行ったが、遠隔地のため学習支援は終了した。児童養護施設の子どもの学習支援やアフタフォローの在り方を、関係団体が集まり協議し、あらたな支援あり方を模索することとなった。

6) 活動の実績が認められ、2019年7月16日に、宮崎市・宮崎大学教育学部・特定非営利活動法人 Swing-By で子ども支援に関する連携協定を締結した。



③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
	団体支出金（自己負担金）	5,000円
支 出		
	ボランティア交通費（宮崎市・日曜日：1,000×28回）	28,000円
	ボランティア交通費（宮崎市・金曜日：1,000×28回）	28,000円
	ボランティア交通費（延岡市・土曜日：5,000×7回）	35,000円
	ボランティア交通費（宮崎市・不定期：1,000×14回）	14,000円
	合 計	105,000円